

## 第6学年 音楽科学習指導案

日時 平成27年11月18日(水)5校時

児童 6年生 19名

指導者 千葉 真紀子

1 題材名 詩と音楽を味わおう

2 教材名 滝 廉太郎の歌曲(花/箱根八里)

3 題材について

(1) 題材の目標

歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら聴いたり、思いや意図をもって歌ったりする。

(2) 題材について

我が国には、歌い継いでいきたい優れた歌曲や合唱曲がたくさんある。これらの曲は、日本語の美しい歌詞と言葉のもつ語感を大切にしておつくりされた旋律が一体となって、歌う人や聴く人の心をとらえる。

本題材では、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり、言葉のまとまりや語感を生かして歌ったりすることで、日本語の美しさを味わうようにする。また、歌詞を朗読したり曲に込められた作曲者の意図を考えたりして、歌詞と旋律が一体となった表現の仕方を工夫することができるようにする。

「花」「箱根八里」「ふるさと」の歌詞には、児童にとって理解が難しい言葉も含まれているが、歌詞の内容を理解するとともに、朗読を通して言葉のもつリズムやアクセントを感じ取ることで、その情景を思い浮かべながら曲想を味わって聴いたり歌ったりすることができると思われる。

(3) 指導計画【7時間扱い】

次	時	主な学習活動	教材曲
第1次	1 ～ 2	<ul style="list-style-type: none"><li>歌詞を朗読し、言葉のリズムと歌詞の表す内容を十分に感じ取ったあと、範唱を聴き、楽曲全体の感じをつかむ。言葉のまとまりに気を付けて、主な旋律や副次的な旋律を歌う。</li><li>言葉の繰り返しに込められた作曲者の思いや、旋律の音の上がり下がりや強弱に注目してどのように表現するかを考えるとともに、言葉のまとまりや語感を生かした歌い方を工夫して、二部合唱を仕上げる。</li></ul>	思い出の メロディー 【歌唱】
第2次	3 ～ 4 本 時 4/7	<ul style="list-style-type: none"><li>滝廉太郎が作曲した日本の歌曲「花」について、歌詞の内容から情景を想像しながら聴き、楽曲全体の感じをつかむ。歌詞と旋律が結びついたよさを感じ取って聴く。</li><li>「箱根八里」の歌詞から情景を想像し、歌詞と旋律の一体感を感じ取って聴く。「花」と比較しながら、旋律の特徴を聴きとることで、そのよさや感じ取ったことについてまとめ、話し合う。</li></ul>	滝廉太郎の歌曲 (花/ 箱根八里) 【鑑賞】

第3次	5 ～ 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の表している情景を想像しながら、主な旋律を歌う。副次的な旋律の重なりの特徴をとらえて歌い、自分の声に合わせてパートを決める。</li> <li>・2つのグループに分かれ、グループで強弱表現などをどのようにするかを話し合い、歌詞の内容や曲想に合うように歌い方を工夫して三部合唱をする。</li> <li>・グループごとに工夫した合唱を聴き合い、感想を交流する。まとめとして、全員で曲想を生かした三部合唱に仕上げる。</li> </ul>	ふるさと 【歌唱】
-----	-------------	---	--------------

#### 4 教材について

##### (1) 学習指導要領との関連

###### B 鑑賞

ア 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。

イ 音楽を形づくっている要素のかかわりあいを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。

[共通事項] 音楽を形づくっている要素についての指導内容

ア (ア) 音色、リズム、旋律、強弱、音の重なり

##### (2) 教材について

本教材は、どちらも滝廉太郎作曲の日本の代表的な歌曲である。「花」は、川や木、月といった日本の自然の美しさを流れるような旋律で表している。一方、「箱根八里」は、険しい箱根の山の情景を力強く歌い上げている。どちらの曲も同じ付点のリズムが用いられているが、対照的な印象を受ける。その違いから、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想の違いを味わうことができるとともに、日本の歌曲の美しさを感じ取ることができる教材である。

また、「花」は女声合唱、「箱根八里」は男声・混声合唱で歌われており、それぞれの歌声の特長が歌詞の表す情景をより引き立てていることも感じ取ることができる。

##### (3) 児童について

児童の多くは、音楽に関心を持ち意欲的に活動している。感じたことを言葉で表現したり、音楽的特徴を見つけたりすることが得意な児童も見られる。一方、歌唱や身体表現などの活動においては、積極的に表現する事への戸惑いを感じている児童も見られる。

これまでの音楽の学習の中で、音楽を形づくっている要素についてカードを用いて取り上げていることもあり、「強弱」「リズム」「速度」「音色」など、その音楽のカギとなっているポイントに気づくことができる児童が増えている。しかし、それらの要素が自分の感じ取った音楽のよさとどのように絡み合っているのかを考える活動については、まだ経験が乏しく、指導の工夫が必要である。

(4) 評価

具体的評価規準	十分満足 (A)	努力を要する児童への支援 (C)	評価方法
<p><b>【観点1】 関心・意欲・態度</b></p> <p>・詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、味わって聴く活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・詩と音楽が一体となった日本の歌曲に関心をもち、味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・詩と音楽の一体感を感じることができるよう、言葉の意味を板書したり、旋律を感じる身体表現の仕方を示したりすることで、聴く活動への意欲を持たせる。</p>	<p>行動観察 発言内容</p>
<p><b>【観点4】 鑑賞の能力</b></p> <p>・日本の歌曲の詩や旋律が生み出す曲想を動きや言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさを味わいながら聴いている。</p>	<p>・日本の歌曲の詩や旋律が生み出す曲想を動きや言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさを主体的に味わいながら聴いている。</p>	<p>・歌詞と旋律の結びつき、旋律の特徴について、キーワードとなる言葉や図などで工夫して板書することで、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表現できるようにする。</p>	<p>行動観察 発言内容 ワークシート</p>

5 本時の指導

(1) 本時の指導について

① 歌詞と旋律の一体感を体で感じさせる（親しませる）ための手立て

歌詞と旋律の結びつきを言葉の意味や視覚的な旋律の動きで確かめるだけでなく、身体運動を入れることによって、旋律が歌詞の意味と一体化していることを実感させたい。「花」については音の上がり下がり「箱根八里」については、リズムに着目した身体表現を取り入れていく。また、繰り返し聴くことで、しっかりと音楽に親しませたい。

② 聴き取ったこと・感じ取ったことを伝える言語活動について

言葉で表現する活動によって、「音楽を形づくっている要素」と「感じ取ったこと」の結び付きをより深く理解することができる考える。板書を工夫することで、「聴き取ったこと」や「感じ取ったこと」を自分なりに表現できるようにしていきたい。また、全体で伝えあうことにより、さらに2つの歌曲の特徴やよさを理解できるようにしたい。

(2) 目標

歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想や歌曲のよさを感じ取って聴くことができる。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	◎評価 ○資料等
つかむ 7分	<p>1 ウォーミングアップの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花」を歌う。</li> </ul> <p>2 学習曲・学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で学習した曲「花」について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想にあった動きを入れながら歌い、前時の学習を想起させる。</li> <li>・事前に「箱根八里」の歌詞を音読させておく。</li> </ul>	<p>◎「花」</p> <p>楽譜・楽譜</p> <p>○滝廉太郎写真</p> <p>○「箱根八里」歌詞</p>
<p>2つの歌曲のよさを味わおう！</p>			
したしむ 考える 25分	<p>3 「箱根八里」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「箱根八里」の歌詞を朗読する。 →歌詞から情景を確かめる。</li> <li>・情景を想像しながら聴く。 →気づいたことを確かめる。</li> <li>・旋律が生み出す曲想を感じ取り、動きを表す。</li> <li>・楽譜をもとに旋律の特徴やよさ歌詞との一体感について確かめる。 →リズム（付点、三連符） →言葉のまとまりや語感と旋律</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読で感じ取った情景から、旋律を予想させて聴かせる。</li> <li>・対照的な曲想であることを押さえる。</li> <li>・合唱形態の違いについて確認する。</li> <li>・リトミックスカーフを使用させ、旋律にあった身体表現を考えさせる。</li> <li>・身体表現を通して、旋律の特徴を十分に感じ取らせる。</li> <li>・身体表現での動きからも旋律の特徴をとらえさせる。</li> <li>・旋律が生み出している曲想（元気のよさ、力強さ、山の険しさ…など）とつなげていく。（感じ取ったこと）</li> </ul>	<p>○6年鑑賞CD</p> <p>○男声合唱 図 混声合唱 図</p> <p>◎歌詞と旋律の結びつきについて主体的に考えようとしているか。 (発言・観察)</p> <p>○「箱根八里」楽譜</p> <p>◎曲の特徴やよさについて感じ取ったことを言葉で表すことができたか。 (発言・ワークシート)</p>

ま と め ・ 発 展	4	聴き取った事や感じ取った事を自分なりにまとめる。 ・「花」について (前時) ・「箱根八里」について	・個々に感じ取ったことを全体で共有し、考えを広げられるようにする。
	<p>(「花」は、川のように流れる感じの旋律が歌詞とよく結びついている。「ながめを何に～」の繰り返す歌詞のところは、音が上がっていき、歌声も大きくなるので、一番気持ちが伝わってくる感じがする。)</p> <p>「箱根八里」は、元気よくはずむようなリズムの旋律が歌詞とよく結びついている。「くもはやまを～」のところのリズムがいい。言葉とリズムがうまく合っていて、力強さを感じさせる。</p>		
13 分	5	2曲のよさについて発表する。	・どちらも旋律と歌詞との一体感がそれぞれの曲のよさを作り出していることや、音楽の様々な要素や演奏形態が対照的な曲想を作り出していることを確かめる。
	6	次時の学習内容を知る。	

(4) 板書計画

